

株式会社エー・ピーホールディングス

2025年3月期 第1四半期

決算説明資料

2024.8.14

東証スタンダード市場 | 3175

Copyright © 2024 AP HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

食のあるべき姿を
追求する



決算概要

2025年3月期の取り組み進捗



決算概要

1. 5期振りに
第1四半期営業利益が黒字化
2. 中食事業が引き続き好調
営業利益 前期比246.4%
3. 生産流通事業が黒字転換

1. 2025年3月期第1四半期 決算ハイライト

売上高

5,027百万円

前期比 **102.5%**

国内既存店売上高 前期比 107.1%

営業利益

42百万円

前期差 +265百万円

経常利益

86百万円

前期差 +279百万円

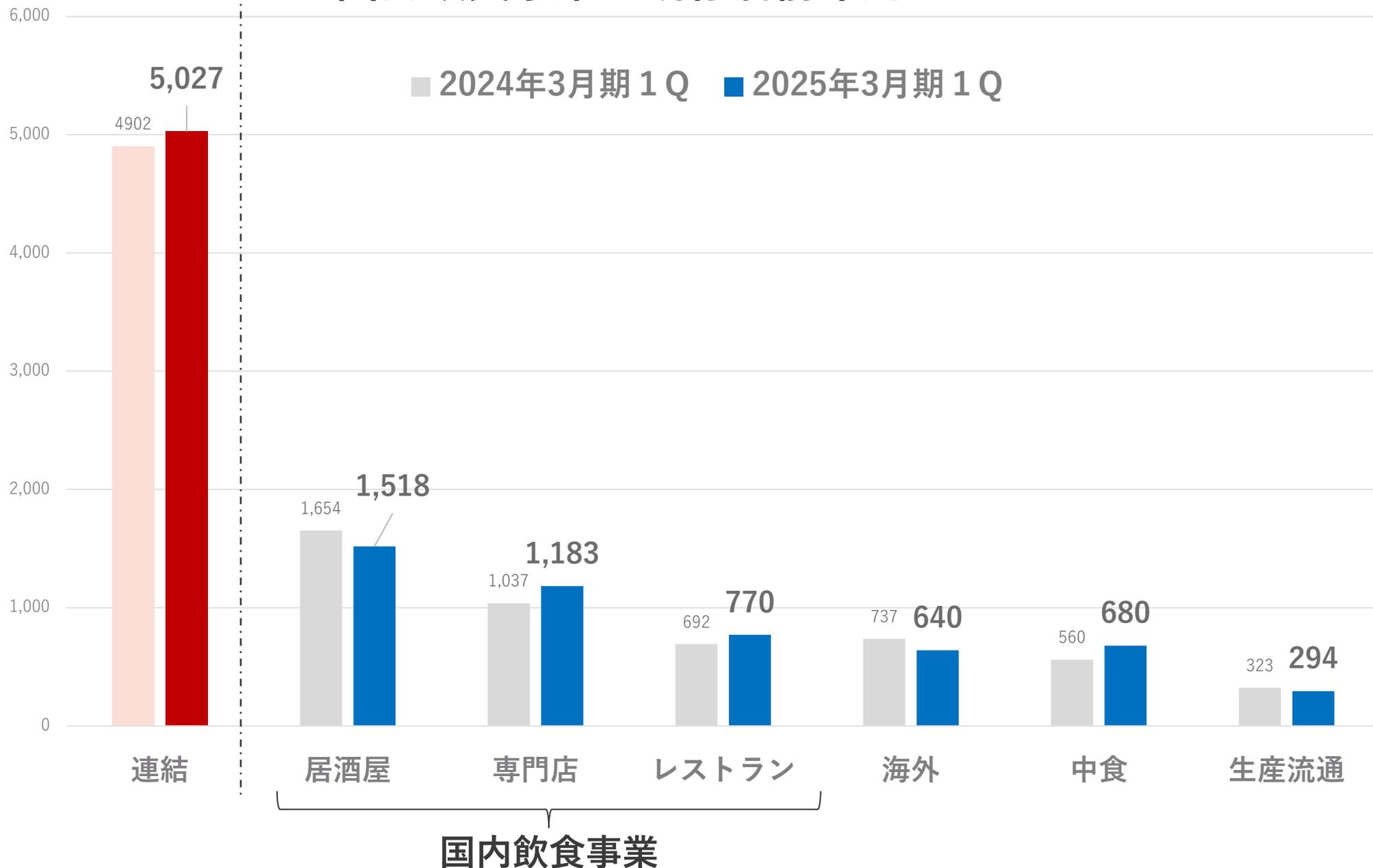
親会社株主に帰属する当期純利益

77百万円 前期差 +272百万円

2. 売上高の前年比較

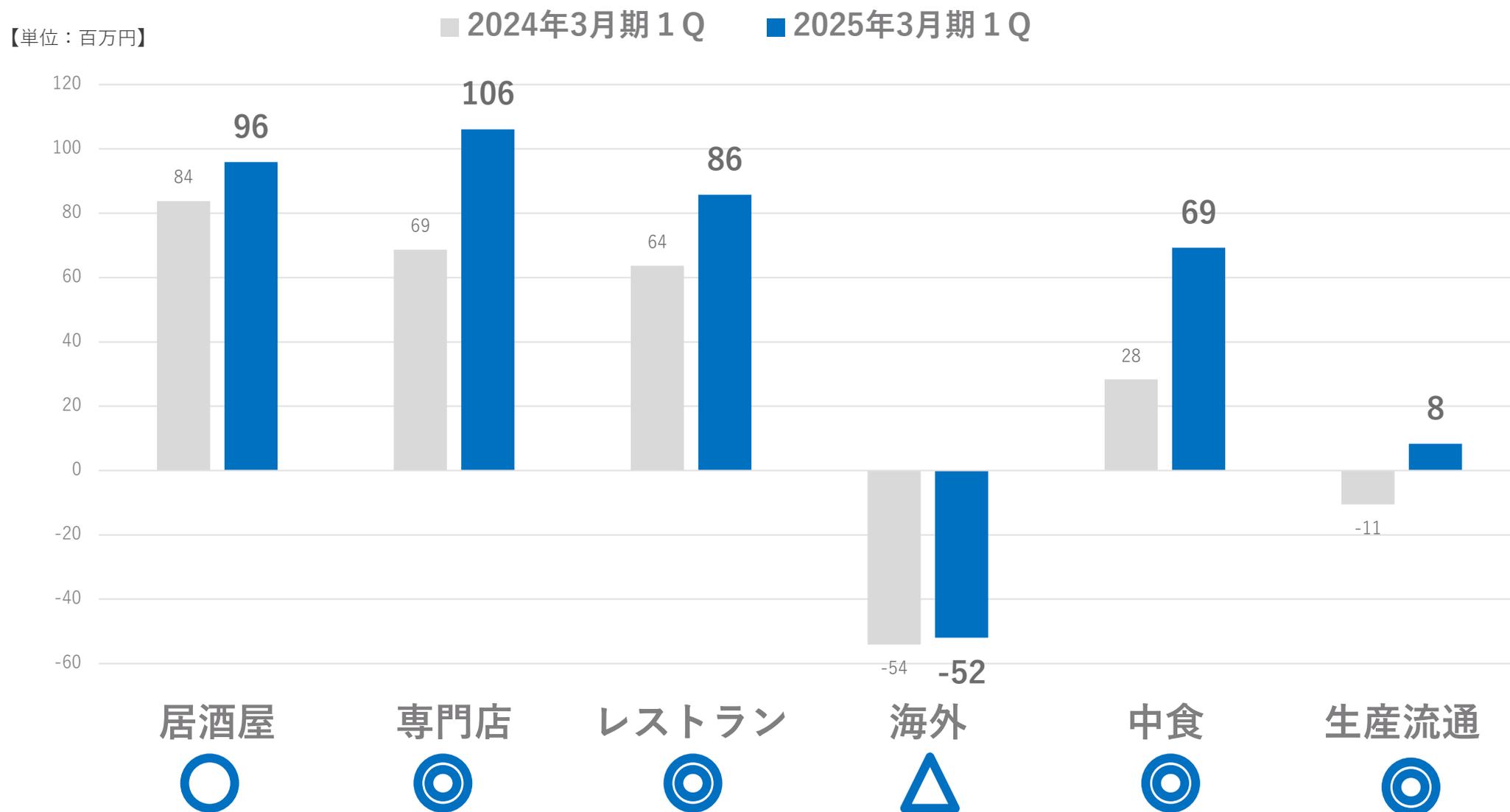
【単位：百万円】

国内飲食事業は既存店前年比107.1%



3. 営業利益の前年比較

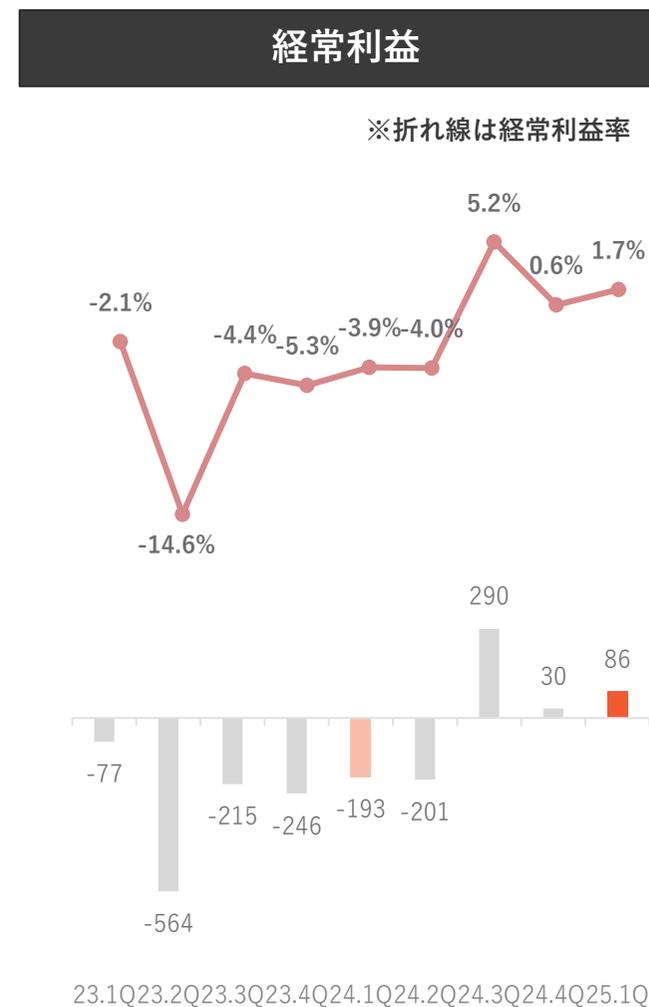
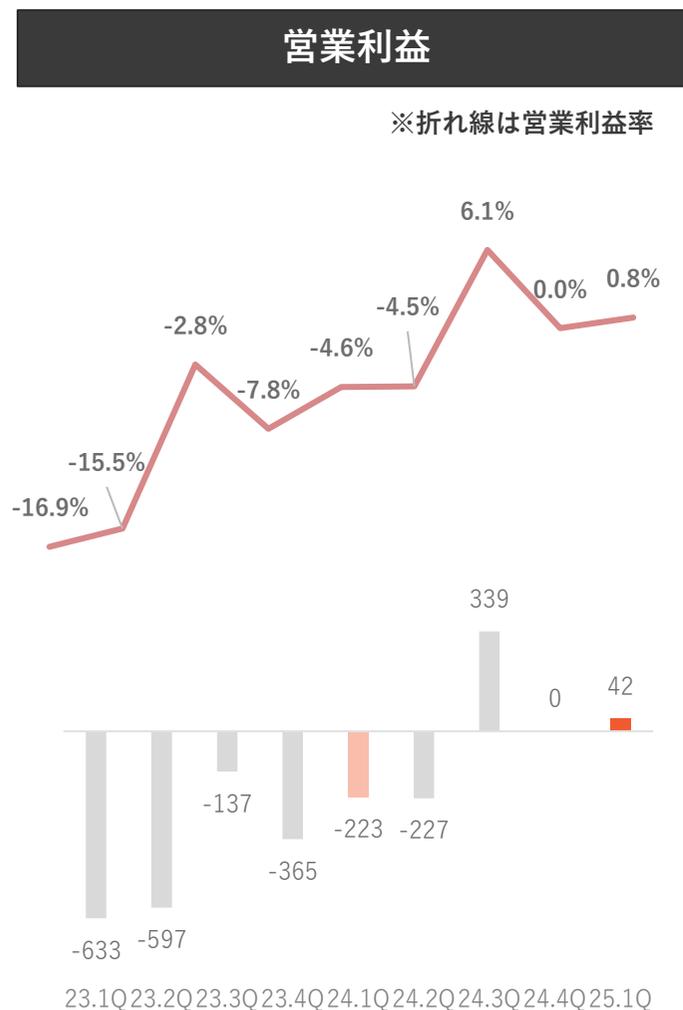
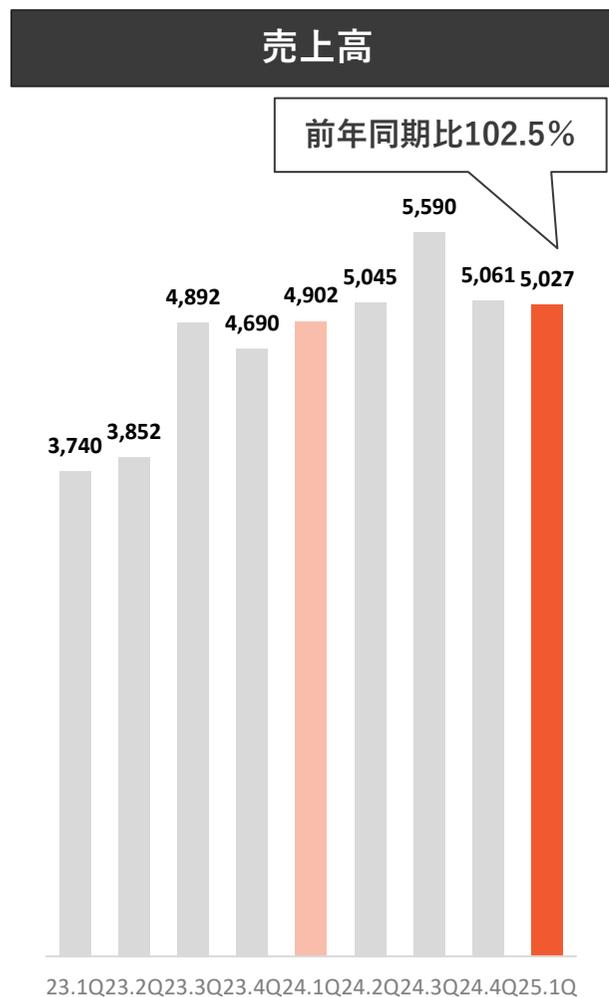
国内飲食事業が好調により、生産流通事業が黒字化
宅配・駅ナカ店舗が好調で中食が前期比246.4%



4. 2025年3月期1Q現在の四半期毎の業績推移

5期振りに、第1四半期営業利益が黒字化

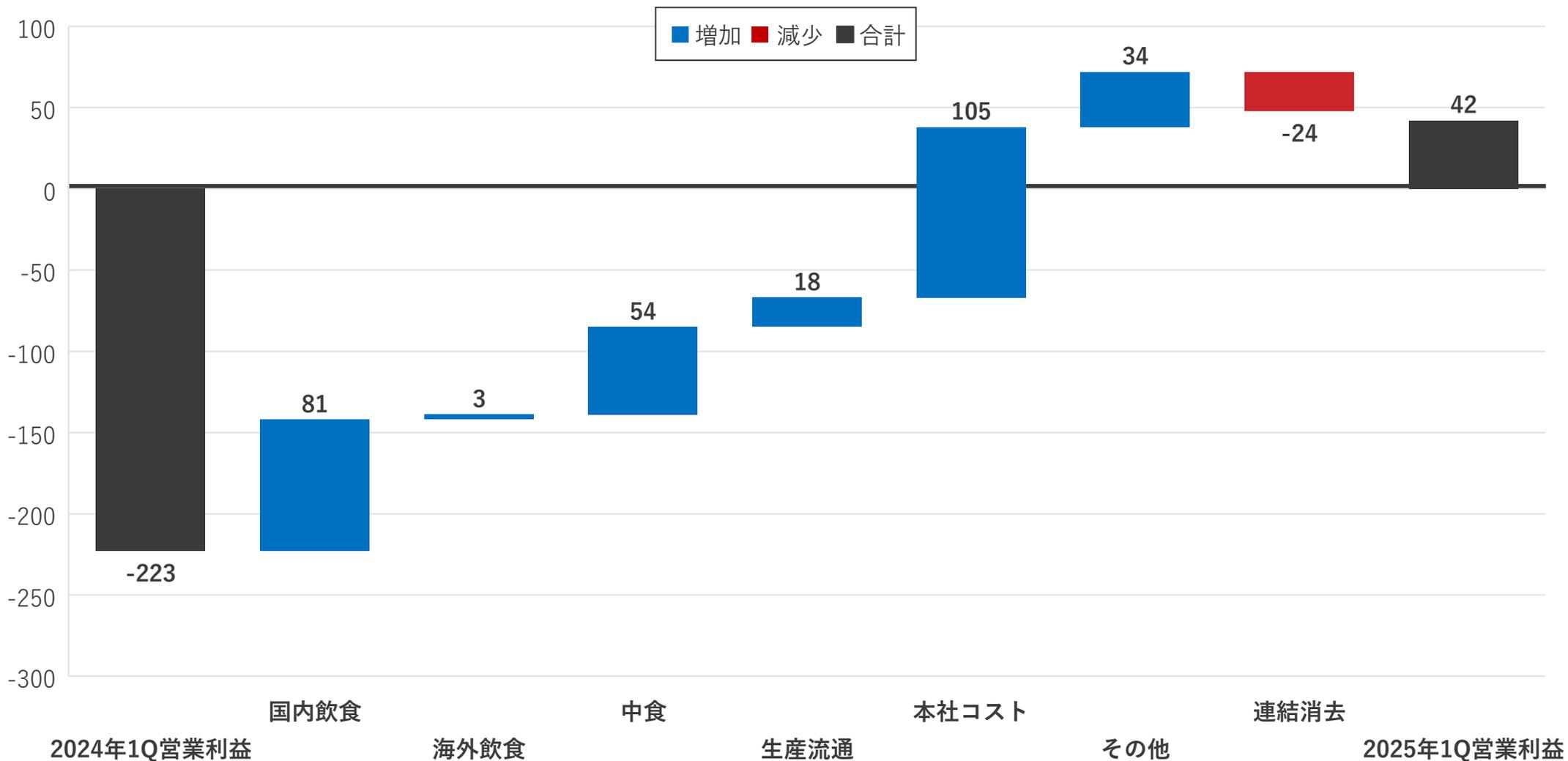
四半期毎の売上高・営業利益・経常利益推移 [単位：百万円]



5. 【事業別】 営業利益差異分析

国内飲食事業と中食が伸長 構造改革により本社コストが105百万円改善

営業利益 前期差異 [単位：百万円]



※連結調整項目は決算数値と異なりますが社内管理ベースでの調整です。

6. 【連結】損益計算書

(単位：百万円)	24.3月期1Q		25.3月期1Q		前期差
	下段	実績	実績	前期比%	
売上高		4,902	5,027		+125
		-	-		102.5%
売上総利益		3,167	3,257		+90
		64.6%	64.8%		+0.2Pt
販売費及び一般管理費		3,390	3,214		-176
		69.2%	63.9%		-5.3Pt
営業利益		-223	42		+265
		-4.5%	0.8%		+5.3Pt
経常利益		-193	86		+279
		-3.9%	1.7%		+5.6Pt
親会社株主に 帰属する当期純利益		-195	77		+272
		-4.0%	1.5%		+5.5Pt

国内飲食事業が好調で、
既存店前年対比107.1%
中食事業は、前期比121.4%

価格改定、商品の見直しに
より原価率を抑制

構造改革により、
収益構造が大きく改善

7. 【連結】貸借対照表

(単位：百万円)	24.4Q	25.1Q	前期差
流動資産	3,534	2,963	-571
（うち現預金）	1,649	1,117	-532
有形固定資産	2,862	2,931	69
無形固定資産	15	14	-1
投資その他資産	1,863	1,856	-7
繰延資産	0	0	0
資産合計	8,276	7,765	-511
流動負債	6,182	5,811	-371
（うち1年内有利子負債）	4,218	4,167	-51
固定負債	1,927	1,880	-47
（うち1年超有利子負債）	1,785	1,729	-56
負債合計	8,109	7,692	-417
株主資本	75	59	-16
その他包括利益累計額	27	-3	-30
新株予約権	8	8	0
非支配株主持分	54	8	-46
純資産合計	167	73	-94
負債・純資産合計	8,276	7,765	-511

借入金の返済や税金等の支払いにより、現金及び預金が532百万減少

優先株式配当93百万円により、自己資本が減少

8. 2025年3月期_業績予想

第一四半期は想定通りの進捗

	2025年3月期 業績予想	2025年3月期 1Q	達成率
<u>[単位：百万円]</u>			
売上高	20,000	5,027	25.1%
営業利益	400	42	10.5%
経常利益	300	86	28.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	200	77	38.5%

2025年3月期の取り組み進捗



1. セグメント別売上シェアの推移

セグメント	24年期末 売上シェア	→ 25年1Q 売上シェア	事業内容
居酒屋	33.6%	29.9%	塚田農場をはじめとする、居酒屋事業とライセンス事業
専門店	22.0%	23.3%	鮮魚、地鶏、ホルモンなどの素材を生かした専門店業態
レストラン	12.9%	15.1%	主に商業施設に出店し、ランチからディナーまで営業を行う業態
海外	13.8%	12.6%	シンガポール、アメリカ、香港、インドネシアにて美人鍋・ラーメン・高級業態を展開
中食	11.7%	13.4%	弁当宅配やフードコートの運営、セントラルキッチンを扱う業態
生産流通	6.0%	5.8%	宮崎、鹿児島、北海道での地鶏の飼育・加工・販売を行う事業

2. 居酒屋/専門店/レストラン セグメントの事業進捗

居酒屋
3事業/66店舗



- 九州塚田農場、北海道塚田は、それぞれ原点回帰の宮崎&鹿児島フェア、十勝フェアを実施
- 塚田農場公式アプリは、15年間続いた「名刺制度」を卒業し、産地・生産者との繋がり強化（8月予定）

専門店
4事業/47店舗



- 産地フェアを軸に、産地×商品力を強みとした、新商品を開発
- インフルエンサーとコラボした、マーケティング施策を実施

レストラン
3事業/25店舗



- 商業施設へ4店舗出店
- マーケットに合わせた商品開発を行い、既存ブランドのブラッシュアップ店舗を開発
- 生産性向上のためのDXツールを積極活用

3. 海外/中食/生産流通 セグメントの事業進捗

海外
4カ国/18店舗



塚田農場
美人鍋
BIJIN NABE



ハコ屋
うどん



- サントリーが世界8都市で展開する「ザ・プレミアム・モルツハウス」香港唯一のブランド旗艦店としてNOJOが参加決定
- 引き続きインドネシアは順調に推移

中食
3部門

宅配弁当

EC

セントラル
キッチン



- 「絶品！塚だまタルタル若鶏のチキン南蛮弁当」が第1回ロケ弁グランプリ金賞受賞
- 宅配弁当事業の塚田農場プラスが10周年記念キャンペーンを実施。更なる成長を目指す

生産流通
3拠点

地頭鶏
ランド

カゴシマ
バンズ

新得
ファーム



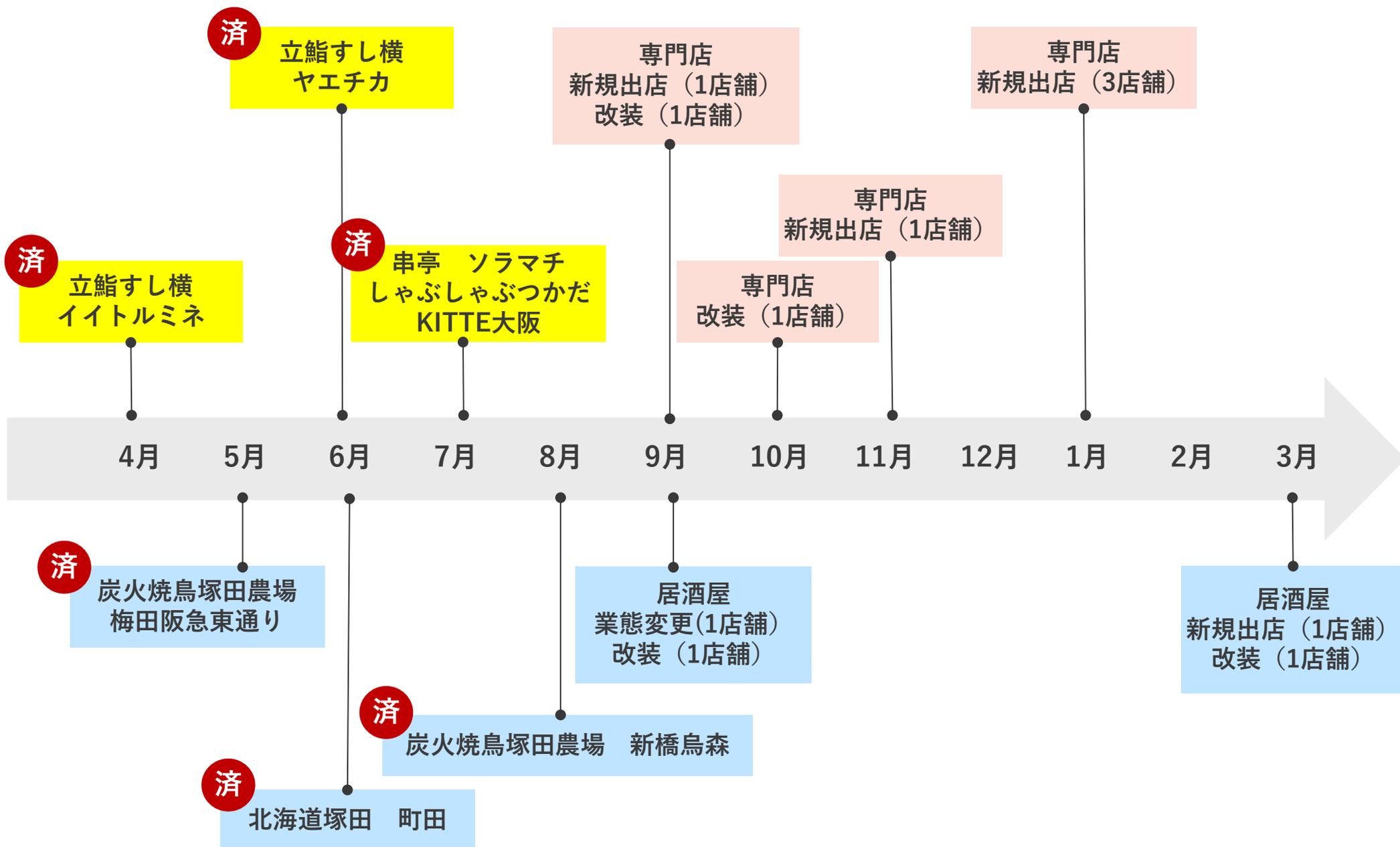
- 国内飲食事業の売上増加により、グループ内販売が増加
- 外部企業への卸し売り販売の強化のため、生産子会社間の連携を強化

各セグメントへの投資予定金額

[単位：百万円]

	総投資額	居酒屋	レストラン	専門店	海外
投資予定金額	400	150 ~170	130 ~140	110 ~120	-

5. 2025年3月期の投資予定時期



6. 事業トピックス_業態変更（1）

居酒屋

看板商品の「地鶏の炭火焼」を中心に
「焼鳥」に特化した炭火焼鳥 塚田農場の9店舗目

2024年5月
炭火焼鳥塚田農場 梅田阪急東通り店がOPEN



6. 事業トピックス_業態変更（2）

居酒屋

新得地鶏と十勝チーズやワインなど、十勝地方にフォーカスした、
北海道塚田の6店舗目



2024年6月

九州塚田農場町田店を「北海道 十勝 新得町 塚田農場」へ業態変更



6. 事業トピックス_業態変更 (3)

居酒屋

串に刺さない炭火焼鳥と厳選素材のタパスを中心に、
国産クラフトビールや国産ワインを揃えるセカンドライン



2024年8月に東京・新橋に新業態
「炭火焼鳥 塚田農場 THE 2nd 新橋店」をOPEN



7. 事業トピックス_新規出店 (1)

レストラン

新宿・中野・高円寺・吉祥寺・府中に続き、
好調の立ち寿司業態を出店加速

立 鮨
すし横
STANDING SUSHI

2024年4月「立鮨 すし横」を新宿EATo LUMINE
2024年6月「立ち寿司横丁」を東京駅ヤエチカにOPEN



7. 事業トピックス_新規出店（2）

レストラン

関東に7店舗と名古屋、博多に展開する串揚げ専門店
「串亭」の新規出店が決定



2024年7月「串亭」を東京ソラマチ7階にOPEN



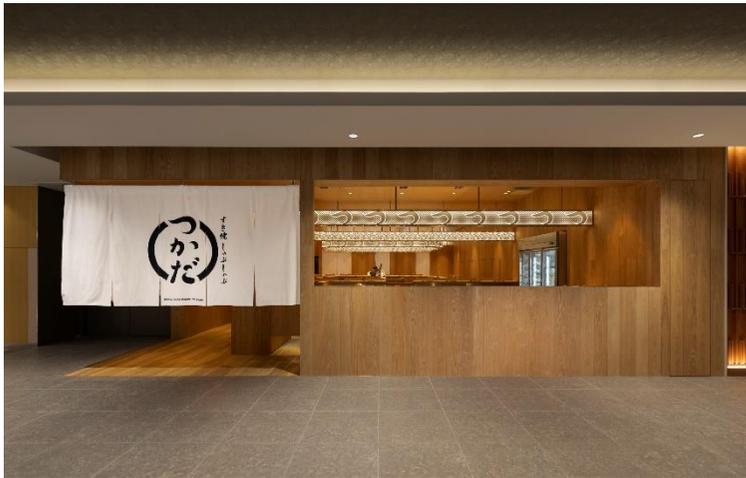
7. 事業トピックス_新規出店（3）

レストラン

渋谷スクランブルスクエアで好評の
しゃぶしゃぶつかだの派生業態が関西上陸



2024年7月「すき焼 しゃぶしゃぶつかだ」をKITTE大阪にOPEN



Appendix



1. ファイナンスの進捗状況（ターゲット・イシュー・プログラムの行使状況）

2023年5月29日発表 第5回新株予約権行使状況（総数2,500個）

(1) 新株予約権の名称	第5回新株予約権
(2) 行使価額修正の通知日	2023年12月27日
(3) 行使価額の修正日	2023年12月29日
(4) 修正前行使価額	1,200円
(5) 修正後行使価額	889円
(6) 修正事由	本新株予約権の発行要項第10項に規定された行使価額の修正条項の適用によるものです。

行使時期	株式数	行使個数	払込金額
2024年1月	27,000	270	24,003,000
2024年2月	48,000	480	42,672,000
2024年3月	42,000	420	37,338,000
第5回 総計	117,000	1,170	104,013,000

今後予定している新株予約権

◆ 第6回新株予約権：2,000個

※2024年6月30日現在で行使停止中。詳細は2024年6月24日に開示いたしました

「第三者割当により発行された第5回及び第6回新株予約権の停止期間の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 店舗数の推移

2025年3月期1Qでは、
2店舗を新規出店し、海外の2店舗を撤退、業態変更2店舗を実施

店舗状況

	2024年3月末 店舗数	出店数	退店数	業態変更	2024年6月末 店舗数
国内直営	134	2	2	2	136
ライセンス	21	0	0	0	21
海外	20	0	2	0	18
全店合計	175	2	4	2	175

※本資料は、業態変更に伴う閉店も1カウントとして記載しております

3. 月次営業レポート

国内飲食店 対前年同月比推移

全店	2025年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
	売上高前年比 (%)	100.9	101.9	104.0	99.1										
	客数前年比 (%)	95.3	98.8	102.2	96.7										
	客単価前年比 (%)	107.3	104.8	103.1	103.9										
既存店	2025年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
	売上高前年比 (%)	106.6	106.1	108.6	101.8										
	客数前年比 (%)	101.3	102.0	105.0	97.3										
	客単価前年比 (%)	106.7	105.5	104.5	106.1										
	対象店舗数 (店)	127	126	127	127										

※決算確定前の参考値です。客数・客単価はランチを除いたディナーのみを対象としています。既存店は開店後13か月経過した店舗のみとしています。

店舗数の状況

区分		前期末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国内	居酒屋	66	66	66	66	66								
	専門店	47	47	47	47	47								
	レストラン	21	22	22	23	25								
	小計	134	135	135	136	138								
海外		20	18	18	18	18								
直営店合計		154	153	153	154	156								

A top-down view of various fresh ingredients including vegetables, fruits, seafood, and poultry on a wooden surface. The ingredients are arranged in a circular pattern around the central text. The items include: a whole duck, several eggplants, green and yellow bell peppers, a scallop, oysters, asparagus, onions, red onions, green onions, a whole fish, a red fish, a yellow fish, a mackerel, a bowl of chicken wings, a bowl of chicken pieces, a bowl of potatoes and carrots, lemons, tomatoes, cucumbers, and a pumpkin. The text "会社概要" is overlaid in the center.

会社概要

1. 経営理念（1）



Misson：私たちの使命

食のあるべき姿を追求する

食とは本来、人生に欠かせないものであり、
生活の中の楽しみや人とのつながりを育んでくれるものです。
その本質が揺らぎ、変革が必要な場面に、
私たちエー・ピーホールディングスは果敢に挑みます。
私たちは、社会が抱える食の課題に先頭に立って挑み、
生産者、販売者、消費者の誰かが夢や希望を抱くことができる
「食のあるべき姿」を追求してまいります。



1. 経営理念（2）



Vision：私たちの目指す姿



FOOD CREATIVE FIRM

時代が求める「食のあるべき姿」を追求した先に、
私たちが実現したいのは、
誰もが食が持つ素晴らしい価値にふれ、新しい感動や発見を味わえる社会です。

これまで培ってきた産地ネットワークや商品開発など固有の経営資産は
全ブランド・全ビジネスで共有しながら、
地域やお客様ニーズに合わせた個性ある飲食ブランドやビジネスを多様に展開していきます。

変化への対応力や人材不足など、業界が抱える様々な課題を解消し、
食の未来を広げるフードクリエイター集団＜FOOD CREATIVE FIRM＞を私たちは目指します。

2. 当社の強み ～六次産業化モデル（1）

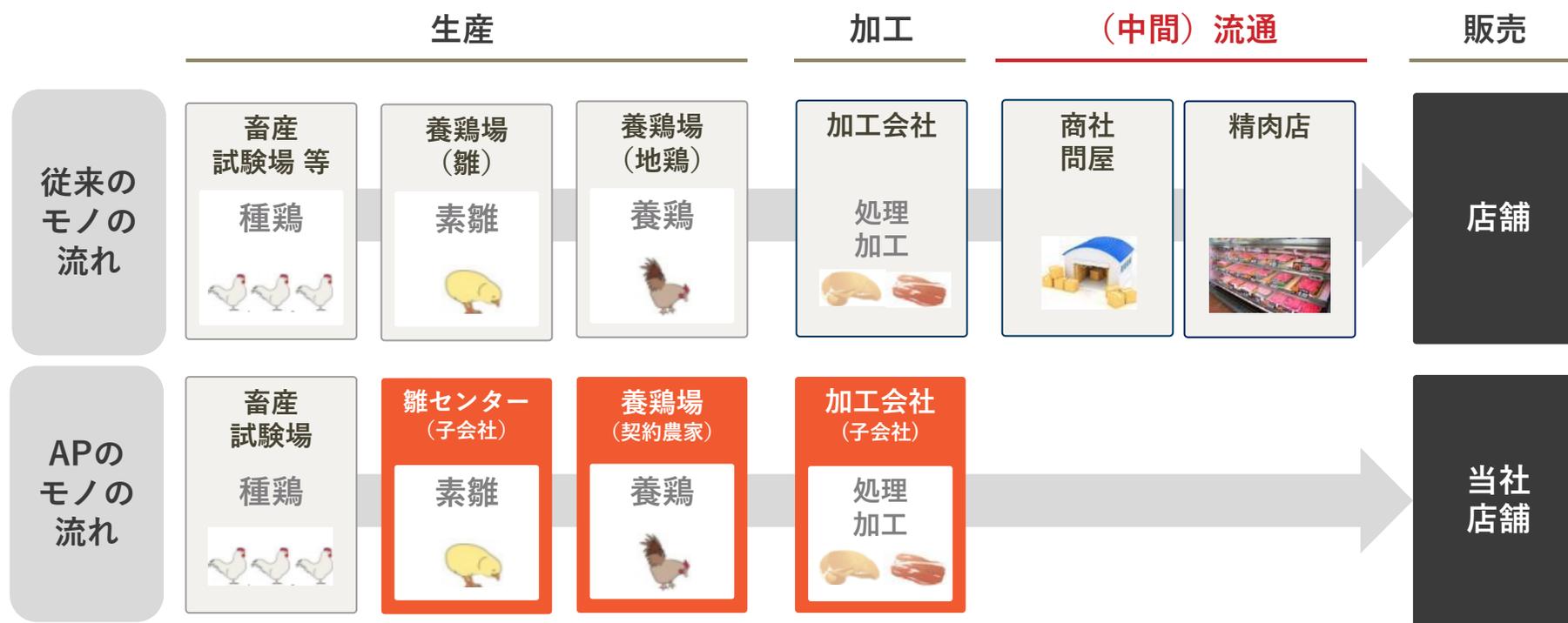
生産から流通、販売に至るまで、一貫して手がける独自の『生販直結』という六次産業化モデルを展開し、食産業全体に寄与するALL-WINを実現



2. 当社の強み ～六次産業化モデル（2）

従来の商習慣に囚われず、生産・加工・流通・販売を全て自社で行うことで、高品質な食材を適正な価格で消費者に届けることが可能に

塚田農場 地鶏モデルの生産から販売まで

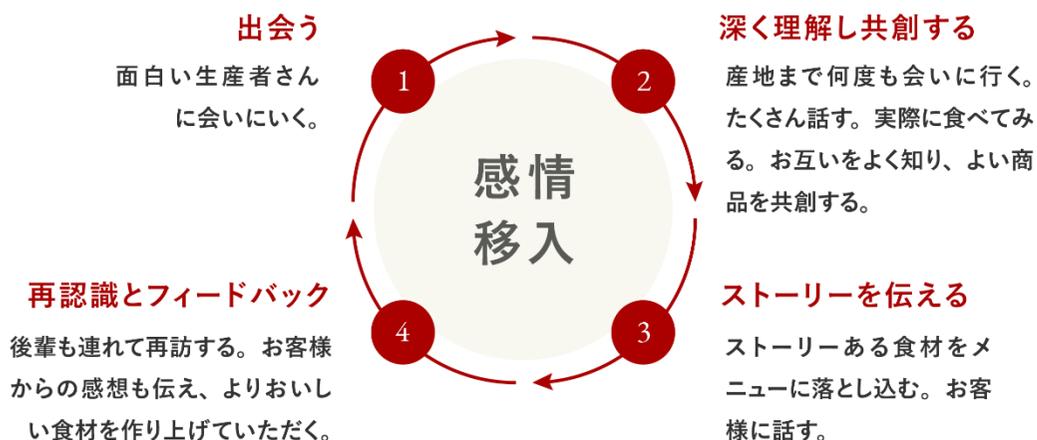


「塚田農場」の地鶏は、自社で地鶏のヒナをかえし、現地契約農家が育成。それを当社が買い取り、自社センターで加工してお店に届きます。通常ならこの過程で何社も介すところを、当社は2006年から一貫で対応する仕組みを構築しているため、おいしく価値ある地鶏を安価に提供することができます。

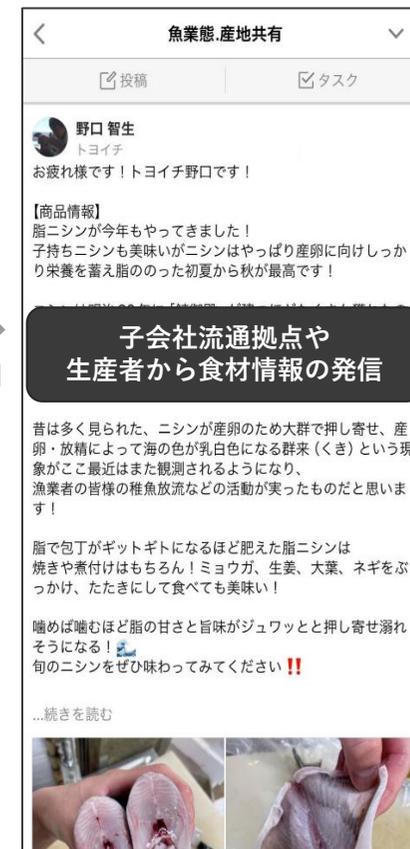
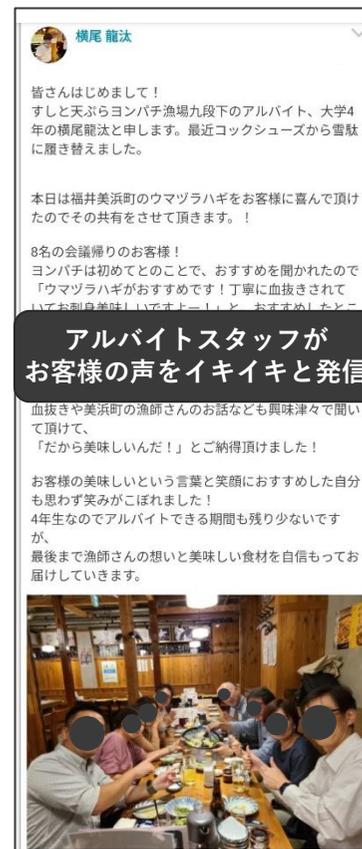
3. 当社の強み ～独自の感情移入文化サイクル

産地と店舗が深い関係を構築しながら情報交流を重ねることで双方の熱量が増幅、商品の価値向上や社会貢献性の高いサイクルを構築

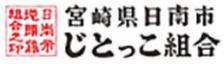
産地への深い理解から生まれる感情移入文化サイクル



社内SNSを活用し生産者と店舗が濃密な情報交流
～コロナ禍で一時中断していたものを再活性化～



4. ブランド展開

	セグメント	店舗数	前期末比	主な展開ブランド
国内	居酒屋	66店舗 (37%)	± 0	
	専門店	47店舗 (28%)	± 0	
	レストラン	23店舗 (13%)	+2	
	ライセンス	21店舗 (12%)	± 0	
	海外	18店舗 (10%)	△2	
	合計	175店舗	± 0	

※2024年6月末時点

【ご注意事項】

本資料に記載された株式会社エー・ピーホールディングスの計画、予想、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、資料作成時点において入手可能な情報及び株式会社エー・ピーホールディングスの経営者の判断に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。実際の業績は、経済動向、市場環境等によりこれらの計画、予想数値と大きく異なる場合がございます。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等につきまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、本資料は株主、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

【お問い合わせ先】

株式会社エー・ピーホールディングス 経営企画・IR室 坂上・武田 / 財務部 加藤

TEL：03-6435-8440 / FAX：03-6435-8441

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-10-1 ISOビル5F